

半田市 蔵出し情報 報道機関提供資料

問 合 わ せ	半田市立博物館
	館長 関 正樹
	担当 谷川 有紗
	TEL 0569-23-7173

令和4年9月14日提供 (事前情報・事後情報)

名 称	館蔵品展「鈴木花蓑 ^{はなみの} 展」の開催について
日 時	令和4年9月17日(土)～11月6日(日)
場 所	半田市立博物館(半田市桐ヶ丘4丁目209-1) TEL(0569)23-7173 2階特別展示室
主催者	半田市立博物館
趣 旨 (目 的)	半田出身の俳人、鈴木花蓑の没後80年にあたって、花蓑が主に活躍の場とした俳句雑誌「ホト>ギス」や短冊、自筆原稿など約30点の資料を展示します。
鈴木花蓑 について	鈴木花蓑は俳誌雑誌「ホト>ギス」を中心に活躍した俳人で、高浜虚子から受け継いだ「客観写生」の考えを忠実に実践した人物として評価されています。花蓑は明治14年に半田町で生まれ、その後は半田の裁判所に勤務し、半田の俳句グループ「芋会」の中心人物となりました。雑詠欄の募集が始まってからは「ホト>ギス」に投句をするようになり、大正3年に初入選、大正10年には巻頭を飾ります。その後も「ホト>ギス」で活動を続け、大正末期から昭和初期にかけて花蓑時代という全盛期を築き上げました。晩年は碧海郡の棚尾で過ごし、碧南の俳句文化の隆興に貢献しています。
主な内容	・花蓑とホト>ギス 花蓑の「ホト>ギス」における活躍について ・花蓑と棚尾 花蓑が晩年過ごした地である棚尾について ・花蓑の俳論 花蓑の俳句の持論について ・花蓑の周囲の人々 花蓑に関わる人々について
担当者 情熱メッセージ	本展では花蓑の句が掲載された「ホト>ギス」や、あまり見ることができない自筆の原稿や短冊を展示します。今回の展示を機に、大正の俳句史に刻まれた鈴木花蓑という人物を知っていただけると幸いです。
別 紙	☒ 有 ・ ☐ 無
写 真	☐ 事前提供可 ・ ☒ 事後提供可

半田市企画課企画広報担当

0569-84-0605

